



第220号 令和3年(2021年)11月20日

市議会だより

■主な内容

7月臨時議会の概要	2
各委員会での主な議案審査状況	2
議決一覧	4
9月定例議会の概要	5
各委員会での主な議案審査状況	6
議決一覧	11
一般質問	13
鈴鹿商工会議所へのお願い	15



国道23号中勢バイパス鈴鹿(安塚)工区

令和5年度の全線開通に向け着々と工事が進められています。
※消防本部所管のドローンで撮影。9月定例議会で可決した支援車Ⅳ型(指揮車)にも新型のドローンを装備予定(P6参照)。

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



7月臨時議会の概要

新型コロナウイルス感染症対策を中心とした 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)など2議案を可決

7月臨時議会を、7月15日に開催しました。まず、市長から「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)」など2件の議案が提出され、提案説明の後、提出議案に対する質疑を行い、委員会に付託し、議案の審査を行いました。

その後、本会議を再開し、付託議案について各委員長から審査結果の報告がありました。

続いて、1名の議員が討論を行い、採決の結果、議案2件はいずれも可決しました。

最後に、8月19日までを休会とすることを決定し、散会しました。

新型コロナウイルス対策補正予算総額 3億5,106万6千円



感染拡大防止策	21予算事業	1億4,728万8千円
市管理施設における環境整備		4,256万5千円
外国人市民に対する情報提供		272万3千円
地域医療提供体制の確保支援		9,900万円
モータースポーツイベント等での感染拡大防止		300万円
生活支援策	3予算事業	762万8千円
女性の貧困等に対する支援		135万5千円
高齢者のフレイル予防		627万3千円
経済対策	4予算事業	1億9,255万円
地域資源等を扱う市内事業者・生産者の支援		6,555万円
事業継続サポート給付金事業		1億2,700万円
緊急雇用対策	1予算事業	360万円
緊急雇用対策事業		360万円

7月臨時議会で可決した新型コロナウイルス感染症対策補正予算

各委員会での主な議案審査状況

予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

文教環境分科会

議案第43号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)

モータースポーツイベント時などに環境配慮型のカトラリーを配布

○地球温暖化防止対策費／地球温暖化防止啓発事業費 300万円

(概要) 新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らすことを目的に、モータースポーツイベント時などに環境配慮型のカトラリー(木製のフォークやスプーンなど)を個包装にして無償配布する。また、集客力の高いイベント時に環境に配慮した製品を配布することで、本市のワンウェイ(使い捨て)プラスチック削減対策を国内外にアピールするとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少した事業者を支援するもの。

質疑 環境配慮型カトラリーの種類、購入先および購入数はどうなっているのか。

答弁 環境配慮型カトラリーの種類は、フォーク、スプーン、フォークスプーン、ナイフ、マドラスプーンの5種類で、市内業者から各種5万個ずつを購入し、配布する予定である。



環境配慮型カトラリー

地域福祉分科会

議案第43号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)

市施設の個室トイレ内に生理用品を設置

○生理の貧困対策事業費 50万円

(概要) コロナ禍における貧困などにより生理用品の取得が困難な女性への支援として、市施設の個室トイレ内に生理用品を提供するためのディスペンサーを設置するに当たり、個室トイレ内のコンセント電気工事を実施するもの。

質疑 ディスペンサーの設置場所および利用状況の管理方法はどうか。

答弁 ディスペンサーを設置する市施設は、本庁舎、イスのサンケイホール鈴鹿（市民会館）を中心に10施設38カ所を選定した。ディスペンサーは、スマートフォンを近づけると生理用品が1個排出される仕組みで、一度受け取ると、その後2時間は受け取ることができず、また、25日間に受け取ることができる枚数は7枚までとなっている。ディスペンサーを利用するには、まずスマートフォンでユーザー登録をする必要があるため、利用状況はユーザー登録により管理する。



ディスペンサー

産業建設分科会

議案第43号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)

小学生のおうち時間の充実および農産業支援

○特産物振興費 4,650万円

(概要) コロナ禍で自宅外での活動が制限されていることから、自宅で体験できる食や農に関する3つのコースを市内の小中学生に提供することで、「おうち時間」の充実を図るとともに、農産業への支援と地産地消の推進を図るもの。

(コース内容) ①おうちC A F E (お茶入れ体験)

鈴鹿茶、鈴鹿抹茶スイーツ、急須を提供

②おうち農園 (家庭菜園体験)

プランター、用土、肥料、野菜種苗2種を提供

③おうちレストラン (料理体験)

鈴鹿産野菜、新米、カレールー、とりめしの素を提供

質疑 3つのコースを小中学生にどのように提供するのか。

答弁 インターネットではなく、学校を通じてパンフレットと申込書を配布する。

総務・文教環境・産業建設分科会

議案第43号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)

公共施設予約システムを導入し感染リスクを低減

○公共施設予約システム整備 総事業費 714万8,000円

(概要) 本市が管理する施設の貸館状況の確認と利用予約をインターネットで行えるよう、公共施設予約システムを導入するもの。

(内訳) 公共施設予約システム導入費 506万円

サービス利用料・保守料 108万8,000円

公共施設予約方法の周知費 100万円

質疑

公共施設予約システムの市民への周知方法、公共施設予約システムで施設の利用予約が重なった場合の調整方法、インターネットが利用できない方への対応はどのようなになるのか。

また、一つのシステムを複数の部で使用することであるが、予算を別々に計上した理由はなぜか。予算の按分および支払い方法はどのようなになるのか。

答弁

ホームページ、広報、窓口のチラシを通して周知していく。利用予約が重なった場合には、インターネット抽選システムの導入を検討している。インターネットを利用できない方に対しては、従来どおり窓口にて職員が対応していく。

また、決算時の歳出科目などを明確にするため、施設所管課ごとに予算を計上している。予算の按分については、施設所管課が持つ予約の枠数に応じて予算を計上している。支払いについては、一括の請求に対し、各課で分担して、それぞれの予算で支払う予定である。



AGF鈴鹿体育館

討論一覧 (7月臨時議会)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。採決で賛否が分かれた場合のみ内容を掲載し、全会一致の場合は一覧を掲載しません。(討論順)

氏名	賛成・反対の別	議案番号
中西 大輔 議員 (市民の声)	賛成	議案第43号、議案第44号



議決一覧 (7月臨時議会)

7月臨時議会に上程された議案は、全て全会一致で可決しました。

議案第43号	令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)
議案第44号	鈴鹿市民会館条例の一部改正について

9月定例議会の概要

公共施設の維持修繕をはじめとした 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)など24議案等を可決

9月定例議会を8月20日から9月24日までの36日間の期間で開催しました。まず、初日の8月20日には、「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)」など12件の議案が市長から提出され、提案説明が行われました。

8月30日には、提出議案に対する質疑を行い、8月30日、31日、9月1日、2日には、15名の議員が一般質問を行いました。

9月2日には、議案12件を委員会に付託しました。また、市長から「工事請負契約の締結について」など4件の議案が追加提出され、提案説明の後、委員会に付託しました。その後、「自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求める請願書」など3件の請願を委員会に付託しました。

9月2日、13日、14日、21日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の9月24日には、付託議案について各委員長から審査結果の報告がありました。その後、2名の議員が討論を行い、採決の結果、議案16件はいずれも可決または認定しました。次に、請願について各委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、請願3件はいずれも採択しました。続いて、市長から「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第8号)」の議案が追加提出され、提案説明の後、提出議案を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員長から付託議案について審査結果の報告があり、採決の結果、可決しました。また、委員会発議案3件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、委員会発議案3件はいずれも可決しました。次に、市長から「鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について」など4件の議案が追加提出され、提案説明の後、採決の結果、議案4件はいずれも同意することに決定しました。

最後に、11月24日までを休会とすることを決定し、散会しました。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 出席議員を交替制にして本会議を開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染防止対策を講じて9月定例議会を開催しました。議場での密を避けるため、出席議員を交替制にして、議場に不着席しない議員は全員協議会室のモニターで中継映像を視聴しました。

また、執行部の会議への出席についても最小限とし、質疑および一般質問の答弁に関する部局に限り出席を求めました。



9月定例議会初日の議場の様子



9月定例議会初日の全員協議会室の様子

各委員会での主な議案審査状況

総務委員会

議案第60号 財産の取得について

支援車を更新し最新鋭の車両を配備

(概要) 平成19年3月に中央消防署に配備された車両および装備している資機材などの性能が低下しているため、同型で最新鋭の支援車Ⅳ型（指揮車）を取得しようとするもの。

質疑 主要装備にドローンとあるが、その運用はどのように行うのか。

答弁 現在運用しているドローンは、令和2年2月に鈴鹿市消防本部無人航空機運用要綱を制定し、運用を開始した。今回取得する支援車Ⅳ型（指揮車）に装備するドローンは、2台目として新たに導入するもので、これまでと同様に指揮隊が運用し、災害時における被害状況の把握や火災原因調査における実況見分などに活用する。また、新しい機能としてサーマルカメラを搭載しているため、建物火災や広範囲における林野などの火災において、火災の燃え広がり方を温度測定し映像化することができる。指揮隊が、消火活動における活動方針の決定や隊員の安全管理に効果が期待できるほか、山岳救助や水難救助においても上空からの要救助者の検索活動に有効であると考えている。



現在運用中の支援車

文教環境委員会

議案第57号～議案第59号 工事請負契約の締結について

鈴鹿市立大木中学校の増改築工事を実施

(概要) 鈴鹿市立大木中学校の用地内に、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）3階建ての校舎、鉄骨造平屋建てのクラブハウスおよび鉄骨造の連絡通路を建築しようとするもの。

質疑 新しい校舎の主な特徴はどのようなものか。また、それに係る費用はどのくらいか。

答弁 1点目の特徴は、学校が休校の時でも来客玄関、各会議室、トイレ、図書室の一部を地域の交流を深めるために開放できるよう、シャッターで区画ができるようにしている。2点目の特徴は、大木中学校が指定避難所や津波避難ビルに指定されているため、2階および3階の屋上に避難スペースや外部避難階段を設けるとともに、3階屋上に太陽光パネルを設置して防災機能の充実を図っている。この2点に係る費用は、契約金額ベースで約3,000万円である。



大木中学校校舎完成イメージパース

予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第49号 令和2年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

防災スピーカーなどの更新時期

○防災無線維持管理費 1,382万4,681円

質疑 防災スピーカーは設置後10年近く経過しているが、スピーカーなどの機器の現状および更新時期についてどのように考えているのか。

答弁 防災無線維持管理費の内訳は、防災スピーカーや中継局の電気代、電波利用料などのほか、防災スピーカーや移動型無線、中継局や統制室などの機器の保守点検業務委託料、また、保守点検の結果などに基づき実施する機器の修繕費である。防災行政無線については、点検、修繕を行い適正に維持していくことを考えている。これらの機器の更新については、各メーカーの機能や他自治体の導入実績の調査を行うとともに、総務省消防庁が開催する災害情報伝達手段に関するアドバイザー会議での助言を参考に検討している。



防災スピーカー

特別定額給付金事務の成果と課題

○特別定額給付金給付事務費 7,719万7,180円

質疑 特別定額給付金事務を進める中で出された成果と課題および今後にかかすことができる点はどのようなものか。

答弁 特別定額給付金事務は、1人につき定額給付金10万円を各世帯に給付する事業である。本市の成果としては、対象世帯が、8万7,362世帯・19万9,659人に対し、申請は世帯数比で99.48%、人数比で99.75%、給付率は世帯数比で99.45%、人数比で99.73%であった。

課題としては、オンライン申請の脆弱さが挙げられる。本市においても、短期間で全市民を対象に給付をしたことから、大量の申請書进行处理するための作業に要する場所、人員の確保に苦慮したところである。今後にかかすことができる点は、申請処理や振込状況を、ホームページ上でリアルタイムに確認できるシステムを活用した点などが挙げられる。

文教環境分科会

議案第45号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)

鈴鹿市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定に向けた基礎調査を実施

○地球温暖化防止対策費/地球温暖化対策実行計画推進事業費 990万円

(概要) 令和4年度に鈴鹿市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定を予定しており、この計画策定に必要なデータ収集、現状分析および再生可能エネルギー技術の動向調査などの基礎調査を実施するもの。

質疑 基礎調査に係る委託費の算出根拠はどのようなものか。また、委託先はどのような事業者を想定しているのか。

答弁 委託費の算出根拠については、事前に複数の事業者に見積もりを依頼するとともに、担当課においても積算を実施している。委託費の具体的な内容としては、人件費、業務費(通信運搬費、手数料など)などとなっている。委託先の事業者については、コンサルティング会社を想定しており、環境省関連の二酸化炭素排出抑制対策事業の補助事業の調査・検討業務の実績があること、地方公共団体が発注する再生可能エネルギーに係る調査・検討・導入業務の実績があることを条件とする予定である。



議案第49号 令和2年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

ごみ収集事業におけるコロナ禍の影響

○ごみ収集等事業費 8億7,612万3,923円

質疑 ごみ排出量およびリサイクル売り払い収入に対するコロナ禍の影響はあるのか。

答弁 ごみ排出量の総量は令和元年度実績の約6万9,115トンに対し、令和2年度実績は約6万8,005トンで、約1,110トンの減少であった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛に伴い、家にいる時間が長かったことから不要なものを処分する市民が増えたことなどにより、家庭系ごみが前年度と比較して約870トン増加した一方で、事業活動の停滞により事業系ごみが約1,480トン、自治会などが実施した集団回収によるごみが約500トン減少したことによるもので、新型コロナウイルス感染症の影響が顕著に表れたものと分析している。



ごみ収集の様子

地域福祉分科会

議案第49号 令和2年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

市民相談の実績とコロナ禍の影響

○市民相談事業費 646万3,147円

質疑 令和2年度の相談件数、相談内容はどのようなものか。また、コロナ禍の影響はあったか。

答弁 相談には専門相談と一般相談がある。このうち、専門相談には弁護士による法律相談や交通事故相談、行政相談委員などによる総合相談があり、法律相談が383件、交通事故相談が27件、総合相談が135件で、合計545件の相談があった。

また、一般相談は職員が電話や窓口で対応するもので、2,410件の相談があった。

相談内容は、最も多かったのが相続・遺言・贈与に関することで550件、次いで離婚に関するものが223件、登記・売買に関するものが177件であった。

なお、行政部局別の相談において、生活保護や新型コロナウイルス感染症に関することなど、健康福祉部関係の相談が多くあったことから、コロナ禍の影響があったと考えられる。



市民相談の様子

子育て世帯に配布した鈴鹿サーキット無料券の実績

○新型コロナウイルス感染症対策児童福祉事業費／子ども支援事業費 2,229万7,390円

質疑 事業の実施結果はどのようになったか。

答弁 この事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校が休業になる中、自粛やステイホームに協力していただいた児童や保護者に本市の魅力を再発見していただくとともに、遊園地などの経済活動の回復への寄与を図る目的で、鈴鹿サーキットの無料券を配布した。利用実績は、子どもが11,487人で、対象児童数の約53%となる。事業の趣旨を鑑み、広報やホームページなどでPRを行ったほか、転入者やチケットを紛失された方にも郵送などで柔軟に対応した。年始からは、三重県緊急警戒宣言が発出されたことにより、利用者数が伸び悩んだが、緊急警戒宣言の解除や利用期限を春休みまで延長したことにより、3月の利用者は増加した。

産業建設分科会

議案第49号 令和2年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

緊急雇用サポート事業・スキルアップ応援事業の実績

○ 緊急雇用対策事業費 2,890万4,640円

質 疑 事業の委託先および実際に就業に結び付いた件数と業種はどのようなものか。また、事業を活用した資格取得件数などの実績はどのくらいか。

答 弁 緊急雇用サポート事業は、株式会社名大社に委託し、求人サイト「鈴鹿deはたらこっ！」の構築や、お仕事フェア（市役所本館12階で開催した求職者と企業のマッチングイベント）などを実施した。お仕事フェアによる内定者は20名で、内訳は、製造業が8名、教育・学習支援業が4名、派遣業が4名、小売業が2名、土木建築業が1名、保険業が1名であった。

スキルアップ応援事業は、職業訓練法人鈴鹿地域職業訓練協会に委託し、求職者などによる資格取得を公費負担して就職活動を応援した。資格取得者数は137名で、内訳は、フォークリフトが51名、アーク溶接が13名、パソコンが12名、玉掛けが12名、その他が49名であった。

また、ポルトガル語によるフォークリフト運転技能講習を株式会社長島総合自動車学校に委託して実施し、71名が資格を取得した。



スキルアップ応援事業
フォークリフト運転技能講習(実技)

モノづくり元気企業支援事業の実績

○モノづくり元気企業支援事業費 631万4,876円

質 疑 応募数および実施結果はどのようなものか。

答 弁 2件の応募があり、2件とも採択となった。1件目は、三恵工業株式会社の三重県工業研修所と共同開発した熱プレス成形による軽量な不織布の成型品開発で、316万1,000円の補助を行った。2件目は、フヂイエンジニアリング株式会社の三重大学知能ロボティクス研究室との共同研究による電動パーソナルモビリティの開発で、300万6,000円の補助を行った。



過去の採択事業(一部)

討 論 一 覧 (9月定例議会)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。採決で賛否が分かれた場合のみ内容を掲載し、全会一致の場合は一覧を掲載します。(討論順)

氏 名	賛成・反対の別	議案番号
中西 大輔 議員 (市民の声)	賛 成	議案第45号～議案第60号
船間 涼子 議員 (公明党)	賛 成	議案第45号～議案第60号

議 決 一 覧 (9月定例議会)

【賛成：○ 反対：×】

議案 等	会派名 ()は所属議員数	新 緑 風 会 (6)	れ い め い (5)	鈴 鹿 市 議 団 (5)	自 由 民 主 党 (5)	市 民 ク ラ ブ (4)	鈴 鹿 大 志 会 (3)	公 明 党 (3)	市 民 の 声 (3)	諸 派 党 (2)	議決結果
議案第45号	令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	鈴鹿市公告式条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第47号	鈴鹿市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第48号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第49号	令和2年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
議案第50号	令和2年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	〃
議案第51号	令和2年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第52号	令和2年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第53号	令和2年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第54号	令和2年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第55号	令和2年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 認定
議案第56号	令和2年度鈴鹿市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第57号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第59号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第60号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

(次ページに続く)

(前ページから続く)

議案等	会派名 ()は所属議員数	新 緑 風 会 (6)	れ い め い (5)	自 由 民 主 党 鈴 鹿 市 議 団 (5)	市 民 ク ラ ブ (4)	鈴 鹿 太 志 会 (3)	公 明 党 (3)	市 民 の 声 (3)	諸 派 (日本共産党) (2)	議決結果
議案第61号	令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第63号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第64号	鈴鹿市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第65号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
委員会発議案 第1号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
委員会発議案 第2号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
委員会発議案 第3号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※可決した3件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。

請願第1号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第2号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
請願第3号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

議長は原則として採決に加わりません。



会派等構成員一覧

新 緑 風 会	宮本 正一	大杉 吉包	山口 善之	山中 智博	河尻 浩一	前川 申龍
れ い め い	南条 雄士	矢野 仁志	市川 哲夫	池田 憲彦	田中 通	
自 由 民 主 党 鈴 鹿 市 議 団	宮木 健	野間 芳実	森 喜代造	太田 龍三	桐生 常朗	
市 民 ク ラ ブ	永戸 孝之	中村 浩	大西 克美	藪田 啓介		
鈴 鹿 太 志 会	明石 孝利	水谷 進	平野 泰治			
公 明 党	藤浪 清司	池上 茂樹	船間 涼子			
市 民 の 声	中西 大輔	市川 昇	田中 淳一			
諸 派 (日本共産党)	石田 秀三	高橋さつき				
無 所 属	森 雅之(議長)					

採決時の会派等構成員一覧です。

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

れいめい 池田 憲彦 議員

鈴鹿のこれからの教育について

(質問) 教育長の就任に当たって、教育長としてのビジョンと、本市の教育の課題に対してどのように改善に取り組んでいくのか。

(答弁) 人権教育と特別支援教育を基盤として、児童生徒が集団の中で安心して過ごせるような、教師と児童生徒、児童生徒相互の好ましい人間関係を築き、市内の学校を誰もが安心できる居場所にしたい。考える力、行動する力を身に付けた子どもの育成に努め、重点的な取り組みとして、学力向上、長期欠席対策、ICT活用の3点を大切にしていく。

その他の質問 ○小規模農家への支援



公明党 藤浪 清司 議員

市内経済の現状と支援について

(質問) 新型コロナ変異株の猛威により、市内経済への影響もより深刻化する恐れがある。市内企業、個人事業主を支えるため、新たな支援策を講じる必要があるがいかがか。

(答弁) 7月臨時議会で議決された事業継続サポート給付金(対象業種拡大分)、地域資源活用支援事業、農業支援策を推進するなど、アフターコロナを見据えた経営基盤の強化につながる支援を行うことにより、事業継続および本市の経済回復に努めていく。

その他の質問 ○コロナ禍における働き方改革 ○心のケア



市民の声 中西 大輔 議員

若年層へのワクチン接種について

(質問) 20歳以下への接種体制、かかりつけ医など地域医療への配慮、若年層への接種に関連する情報提供の手法、接種に慎重な人への配慮はどう考えているのか。

(答弁) 医療機関での個別接種と、集団接種の2本立てで考えている。市ホームページやフェイスブックなどのSNSを使い、若い世代の判断につながる情報を発信することを考えている。広報すずかななどで、接種を受けていない人が不当な扱いをされないよう情報を発信していく。

その他の質問 ○都市マスタープラン改定に向けて



市民クラブ 中村 浩 議員

子どもの医療費についてパート2

(質問) 四日市市、亀山市などは子ども医療費の助成に所得制限を設けていないが、本市についても所得制限を撤廃できないのか。

(答弁) 子ども医療費の助成を継続して実施していくためには、安定した財源が必要であることから、毎年、県に対して補助対象の見直しを要望している。今後も県への要望を継続しながら、現行の制度を維持し、適切な運営に努めていくとともに、所得制限の撤廃についても慎重に検討していく。

その他の質問 ○土地開発公社



れいめい 南条 雄士 議員

運動施設予約制度の改善を

(質問) 感染症対策と市民サービス向上の観点から、公共施設インターネット予約システムの整備を機に、運動施設に関して①並ばずに済む予約制度、②予約時期や使用料の市民優先制度、③使用料のキャッシュレス(現金を使わない)決済制度、の3点の導入を求める。

(答弁) ①使用日の直前の日まで予約ができるように制度を改善し、インターネット予約だけでなく、電話での仮予約も受け付ける。②市民先行予約を可能にし、市外料金も検討する。③予約システムの整備後、キャッシュレス決済導入に向け検討する。



市民クラブ 藪田 啓介 議員

行政情報の発信について

(質問) 新型コロナワクチン接種における若年層の副反応に関する公式な情報はどこにあるのか。本来、PCR検査陽性者は入院処置となっているが激増する自宅待機者と自宅療養者への対応はどうなっているのか。

(答弁) 接種における副反応の情報は8月16日に有益な情報を集めた鈴鹿市ワクチン接種情報のサイトに掲載しているのでワクチン接種判断の参考としてほしい。自宅療養者については8月の急激な感染拡大により増加しているが、県・保健所と情報共有し、迅速に市民へ情報発信していく。



市民クラブ 永戸 孝之 議員

人口減少抑止策(地方創生総合戦略)の重要性について

(質問) 人口の減少は、労働力人口の減少を引き起こし、供給力・消費の減少、地域経済を衰退させる。故に人口減少抑止策は極めて重要である。人口減少抑止策を統括推進する部署、連携機関、研究・分析・創造を担う部署はどこになるのか。伊賀市では職員15人による人口減少対策等研究Gを組織し、対策に当たり入念にプロジェクトを提案し、報告書をまとめている。

(答弁) 総合戦略の策定、進行管理は総合政策課が中心となり、また、施策は担当部署が企画立案し、全庁が一丸となって地方創生を推進している。



れいめい 市川 哲夫 議員

鈴鹿の小規模校の在り方について

(質問) 令和2年度から天名小学校、合川小学校であり方検討会議が立ち上げられ、今後について話し合われているほか、天名小学校の存続を求める要望が地元自治会から市に提出されている。それらを踏まえ、市の今後の方向性は。

(答弁) あり方検討会議から、今後の方針や、未就学児童の保護者の意見を聴くことを求められていることから、これまで同会議で出された意見を踏まえて具体案を示すほか、地域住民、小学生、未就学児童の保護者などに意見を伺う。

その他の質問 ○土砂災害



市民の声 田中 淳一 議員

大木中学校校舎増改築工事について

(質問) 全国営繕主管課長会議において、設計業務委託と工事監理業務委託は、別の業者とされていることから、もう一度正規な方法で決定していただきたい。

(答弁) 地方自治法施行令第167条の2の規定で、その契約の性質や目的が競争入札に適さない場合などについては、地方公共団体が、競争の入札によらず、任意に特定の者を選定し、その者と契約することも可能となっていることから、当該工事監理業務委託は、基本設計、実施設計業務委託の受注者と適正に特



公明党 池上 茂樹 議員

市民が安心できるサポート体制の構築について

(質問) 本市でも核家族化の進展や、高齢者のみの世帯が増加し、周囲に相談できる方がみえず、不安を抱え孤立してしまうケースが増えている。このような市民の不安に応えるため、健康や医療相談に24時間電話で対応できる体制を整備すべきと考えるがいかがか。

(答弁) 「健康・医療相談ダイヤル」の導入済み自治体における運用状況を詳細に把握し、費用対効果などについて調査研究する。また、認知症高齢者等個人賠償責任保険制度の導入を検討していく。

その他の質問 ○指定管理者制度



諸派 (日本共産党) 高橋 さつき 議員

国民健康保険について

(質問) 国保の基金は13.5億円とさらに増え、決算黒字と合わせ16億円を超える。県への事業費納付金も大きく変動せず、国保運営はコロナ禍でも安定している。低所得世帯と子育て世帯の負担を減らすという国の方針に沿い、他市が独自に行っているように貯めこんだ基金を市民に還元し、子どもの均等割をなくすこと、また、感染拡大防止の観点から、コロナに感染した事業主が安心して休業できる制度を求める。

(答弁) 均等割の減額対象年齢の拡大、新型コロナ関連傷病手当金制度の対象者拡大などを国に要望していく。



諸派 (日本共産党) 石田 秀三 議員

自然環境の保全について

(質問) 県営鈴鹿青少年の森公園内で建設が計画されているサッカースタジアムについて、市が県から用地を借りてサッカーチームに無料でまた貸しする役割を引き受けたとのことだが、本市が重要生態系地域に選定したこの公園の自然環境への影響はどう考えるのか。利用者や関係者に市として説明、意見聴取を行うことを求める。

(答弁) 事業者に対して、現状をなるべく変えないよう、また、市民への説明の場を設けるよう求めている。説明には市も一緒に入り、連携して取り組んでいきたい。

その他の質問 ○学校給食費の負担軽減を



相談窓口の外部化について

(質問) 2020年6月にパワハラ防止法施行、公益通報者保護法改正があった。心の健康への取り組みは重要性を増し、組織不正のリスク早期発見に内部通報が有効だが、適切な対応は難易度が高い。内部通報窓口を外部に設けるべきでは。

(答弁) 県内では三重県、四日市市、桑名市、南伊勢町が庁外窓口を設置している。庁外窓口を含む通報窓口の在り方について、国の動向を注視し、近日示される指針を確認し、改正の趣旨に沿って適切に対応する。

その他の質問 ○小中学生のための学校支援ボランティア受入体制



本市のコロナの現状と対策について

(質問) 新型コロナウイルスが爆発的に感染拡大し、医療崩壊が言われ、ステージ4ともいふべき緊急事態宣言下の中、本市におけるコロナの直近の現状とその対策について、6つの観点から問う。①コロナ病床占有率や自宅療養者数など②現状の医療体制③子どもの感染症対策④ひとり親世帯・生活困窮世帯への対策⑤経済対策⑥安全・安心に向けた情報発信、以上6点の現状に対し、どのような対策をとっているのか。

(答弁) 分散登校やオンライン授業から催事も含め、感染防止対策の検証と徹底を継続する。



空き家対策について

(質問) 空家法に規定する「特定空家等に対する措置」を超えるような新危険空き家の指定について、市独自に制定できないのか。

(答弁) 鈴鹿市空家等対策計画に基づいたこれまでの取り組みは、本市の空き家対策に一定の効果があつたと考えている。今後も、危険な空き家を増やさないよう努めるとともに、危険な空き家となる前にその状態が改善されるよう、所有者に対し粘り強い指導に努めるなど、現行法制度の中で、空き家対策に取り組んでいきたい。

その他の質問 ○土地開発公社の解散



討論、一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画をご覧いただけます。



鈴鹿商工会議所へのお願い (新型コロナウイルス感染症拡大による会員企業などへの周知)

9月3日(金)、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日中も在宅を強いられる子どもの保育や見守りができるよう、育児世代の従業員への配慮(休暇取得、時間外勤務の抑制、在宅勤務など)を会員企業などに周知していただくため、鈴鹿市議会および鈴鹿市の連名で、鈴鹿商工会議所(田中彩子会頭)に対しお願いの文書を提出しました。

鈴鹿商工会議所には趣旨をご理解いただき、ホームページなどを通じて会員企業などに対し周知をしていただきました。

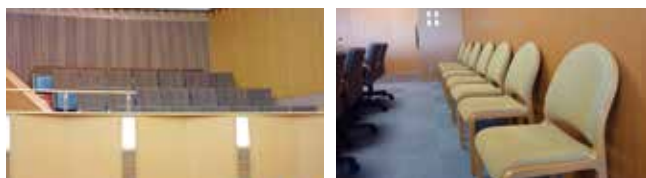
市議会ホームページ「トピックス」に全文を掲載しています。



議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります(締め切り時点で傍聴希望者が定員を超える場合は、抽選により決定します。)

なお、会議の開催予定は、市議会ホームページや市役所掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名 委員会室：定員10名

音声を聞き取りにくい方に



議場傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドフォンを貸し出していますので議会事務局へお申し付けください。

また、手話通訳と要約筆記をご希望の方は、事前にお申し付けください。



議会に来られなくても…

CNS(ケーブルテレビ)で生放送

本会議をデジタル112chで生放送しています。放送時間は午前10時(開会時間)から会議の終了までです。

市議会ホームページで録画映像配信

市議会ホームページで、テレビ中継した映像をおおむね2週間後に録画配信しています。

スマートフォン・タブレットなどのモバイル端末でも視聴できます。

もっと詳しく知るには…

会議録があります!

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の行政資料コーナーで閲覧できます。

なお、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。

また、市議会ホームページで会議録を公開しています。

※9月定例議会の会議録は、11月下旬に配置予定です。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください

皆様のご意見などをお聞かせください

市議会や市議会だよりに対する皆様のご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

宛先は

鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL:059-382-7600 FAX:059-382-4876
mail:giji@city.suzuka.lg.jp

新型コロナウイルス感染症対策のためご協力ください

- ・議場および委員会室の傍聴入り口などに設置してある消毒液をご利用ください。
- ・咳や発熱などで体調の優れない方は傍聴をお控えください。



11・12月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

11月	25日	木	10:00	本会議(提案説明)	12月	14日	火	10:00	総務委員会(分科会)
	26日	金	14:00	議会運営委員会		15日	水	10:00	地域福祉委員会(分科会)
12月	3日	金	10:00	本会議(質疑、一般質問)		16日	木	10:00	常任委員会予備日※
	6日	月	10:00	本会議(一般質問)					常任委員会予備日※
	7日	火	10:00	本会議(一般質問)					予算決算委員会
	8日	水	10:00	本会議(一般質問)		17日	金	10:00	各派代表者会議(予算決算委員会終了後)
議会運営委員会(本会議終了後)					各派代表者会議(予算決算委員会終了後)				
各派代表者会議(議会運営委員会終了後)					広報広聴会議(各派代表者会議終了後)				
	9日	木	10:00	本会議(一般質問、追加議案等、委員会付託)		21日	火	10:00	議会運営委員会
予算決算委員会(本会議終了後)					22日	水	10:00	本会議(委員長報告、討論、採決)	
文教環境委員会(分科会)		全員協議会(本会議終了後)							
産業建設委員会(分科会)		議会だより編集会議(全員協議会終了後)							